

委員会での審査

3月3日から10日に各常任委員会が開催され、付託された議案等を審査しました。
(紙面の都合上、質疑の一部を掲載します。)

総務

◆議案第3号

八街市特別職の職員等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 7%削減の根拠について伺う。

答 市長の公約であり、まず健全財政の堅持ということを踏まえ、また、厳しい財政状況等を勘案いたしまして、引き続き特別職の報酬については減額し、さらに拡大することが必要であるという市長からの指示がございました。本則上の給料から、約100万円の減額をしますと、今現在

の特例条例上の減額の2倍程度になりますので、市長の減額幅を7%として提案させていただきます。

◆議案第14号

平成22年度八街市一般会計補正予算のうち、総務常任委員会付託分について

問 歳入の地域活性化交付金について、地元業者が受注できるようなシステムを構築し、地域活性化交付金を使用できないのか伺う。

答 地域活性化交付金については、なるべく地元中小業者が受注の機会を図れるように事業等を選択しております。

問 地域活性化交付金について、地元業者が受注できるようなシステムを構築し、地域活性化交付金を使用できないのか伺う。

◆議案第22号

平成23年度八街市一般会計予算のうち、総務常任委員会付託分について

問 歳入の固定資産税のうち、家屋について、1・3%増となっているが、その見込みについて伺う。

答 固定資産税の家屋分について、平成23年度は3年に1度行っている評価替えの年ではないので、これまで

であった在来分については現在の課税標準額を維持できます。それに加え、平成22年度の増築・増加分が、300棟程度増加するものと見込んでおりますので、その分の増額となります。

問 一般管理費のうち、職員心理相談業務委託料が2回分計上されているが、事業内容について伺う。

答 近年、メンタル疾患により療養休暇及び休職する職員が増えていることから、平成19年度からメンタルヘルス研修を実施し、平成21年度では418名の職員が参加しております。その時に、講師によるメンタルヘルス相談に職員9名の応募があり、大変好評だったことを受け、平成23年度から年2回の相談業務を行う予定です。内容は、休職中の職員に対する訪問力ウンセリングや上司・同僚との面談等の相談業務を予定しています。

問 財産管理費のうち、公用車のリースについて伺う。

答 公用車管理について、財政課では基本的にはリース化及び軽自動車化を考えており、ここ3年間はリース化を進めていきます。リース化のメリットは、資金の平準化が図れるということとメンテナンス付リースも行っていることから管理部門が楽になるということ、今後も進めていくと考えています。



リース契約をしている公用車

◆議案第22号

平成23年度八街市一般会計予算のうち、文教福祉常任委員会付託分について

問 電算業務費のうち、経費の削減及び増加の抑制について伺う。

答 ここ数年、パソコンの購入については、なるべく入札をすることにより、随意契約で行っていたときと比較してもかなり押さえられております。平成22年度では、情報系システムの更新があり、一般競争入札で行いましたので、効果があつたと思われます。

文教福祉

◆議案第10号

八街市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

問 課税限度額引き上げによって、約1千370万円の増収になるが、基礎課税総額の何%になるのか伺う。

答 おおむね0・5%になると思います。

問 児童福祉総務費について、子育て支援・DV防止ネットワークは、どのようなネットワークなのか伺う。

答 ネットワーク委員会があり、この委員会に諮ったケースは1件もありませんでしたが、DVについては、本人からの申し出により聞き取りを行い、女性サポートセンターと連携を取りながら対応している状況であります。

問 保健衛生総務費について、19節負担金補助交付金の印旛市郡小児初期急病診療所負担金、成田市急病診療所負担金の本

費について、民生委員の役割・立場をどのように伝えているのか伺う。

答 身分としましては、非常勤特別職の地方公務員でありまして、職務は住民の生活状態の把握、援助を必要とするものへの相談・助言、社会福祉事業施設との密接な連携等でありまして、民生委員の役割として、社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行う等の説明をしております。

問 児童福祉総務費について、子育て支援・DV防止ネットワークは、どのようなネットワークなのか伺う。

答 ネットワーク委員会があり、この委員会に諮ったケースは1件もありませんでしたが、DVについては、本人からの申し出により聞き取りを行い、女性サポートセンターと連携を取りながら対応している状況であります。

問 保健衛生総務費について、19節負担金補助交付金の印旛市郡小児初期急病診療所負担金、成田市急病診療所負担金の本

費について、民生委員の役割・立場をどのように伝えているのか伺う。

答 身分としましては、非常勤特別職の地方公務員でありまして、職務は住民の生活状態の把握、援助を必要とするものへの相談・助言、社会福祉事業施設との密接な連携等でありまして、民生委員の役割として、社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行う等の説明をしております。

◆議案第22号

平成23年度八街市一般会計予算のうち、文教福祉常任委員会付託分について

問 社会福祉総務費のうち、民生委員関係

費について、民生委員の役割・立場をどのように伝えているのか伺う。

答 身分としましては、非常勤特別職の地方公務員でありまして、職務は住民の生活状態の把握、援助を必要とするものへの相談・助言、社会福祉事業施設との密接な連携等でありまして、民生委員の役割として、社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行う等の説明をしております。

問 保健衛生総務費について、19節負担金補助交付金の印旛市郡小児初期急病診療所負担金、成田市急病診療所負担金の本

年度の利用状況を伺う。

答 21年度での印旛市郡小児初期急病診療所の受診者数は1千740名程度、成田市急病診療所では190名程度受診しております。

問 育て八街っ子推進事業費について、7節賃金の学力向上推進員は8名と伺っているが、どのような方が活動しているのか伺う。

答 教員免許所持者となっておりまして、

学力向上推進員とは？

算数の基礎学力の向上のため、市内すべての小学校に推進員を配置するもので、平成22年度に続き、平成23年度にも8名配置する予定です。

◆議案第23号

平成23年度八街市国民健康保険特別会計予算について

問 本市の負担率は高いと思うが見解について伺う。

答 国保会計を運営していく中で、平成16年度に改正したことで差

経 済 建 設

◆議案第13号

市道路線の認定について

問 成東酒々井線にバypassが当たる箇所について、信号機設置の予定はあるのか伺う。

答 信号が設置されることとなっております。

八街バイパス付近を現地調査する委員



◆議案第14号

平成22年度八街市一般会計補正予算のうち、経済建設常任委員会付託分について

問 公害対策費のうち、浄水器設置費補助金について、より周知を図れば補助金を利用できる市民も増えると考えが如何か。

答 市民へのPRとして、毎年4月に広報

に掲載しております。またホームページにも掲載しております。4月から広報が月2回の発行となることから、複数回掲載できるか検討していきたいと考えます。

◆議案第22号

平成23年度八街市一般会計予算のうち、経済建設常任委員会付託分について

問 農業振興費について、特産作物試験ほ場業務の内容を伺う。

答 作物はスイカ、梨、小麦となっております。スイカについては、急性イチョウ症等の原因となる土壌の状態などを試験的に比較し、小麦については、パン用小麦であるユメシホと、さとのそら、農林61号との比較試験を行っております。

問 商工業振興費のうち、商工会議所事業補助費の小規模事業指導補助金について、どのような指導が行われているのか伺う。

答 商工会議所が、会員である小規模事業者に対して、経営に関する指導や融資に関する事

業を実施しております。また申告等の相談会、研修会等を行っております。

問 道路管理費の委託料について、具体的な実施計画を伺う。

答 道路側溝清掃業務については、毎年行っている箇所のほか、地区の要望等により適宜対応しております。道路維持管理業務については、主に道路わきの草刈りであり、定期的に行っているものと、地区からの要望により対応するものです。調整池等維持管理業務については、市内6カ所を委託する予定であります。排水ポンプ保守点検業務については、常設のポンプが冠水するところについており、これを月1回点検するものです。

問 道路境界確定費について、境界確定図管理システムの導入によりどうなるのか伺う。

答 過去に境界が確定ファイリングしてありますが、相当な量であります。これを電算化することにより、問い合わせがあった際にパソコンからすぐに呼び

出せるようになります。

問 住宅耐震化促進事業費について、木造住宅の耐震改修費補助事業をどのように進めていくのか伺う。

答 平成23年度に要綱等の整備をし、平成24年度から実施したいと考えます。

◆議案第27号

平成23年度八街市下水道事業特別会計予算について

問 下水道課として、滞納者に対してどのように対応しているのか伺う。

答 徴収については民間に委託しておりますが、10月以降受託会社との合同滞納整理を、平日の夜間に行っております。

問 下水道雨水建設費について、第三雨水幹線の業務が含まれているが、1時間50ミリの雨に対応するものか伺う。

答 5年確率という、5年に1度あるかないかの災害を想定しているもので、時間50ミリ対応であります。